

省エネ住宅の「基本」

省エネと聞くと、太陽光発電を思い浮かべる方が多いだろうが実はそれだけではない。高性能の断熱材の採用、自然の風を取り入れる工法、効率の良いエネルギー利用など組み合わせで実現できることもある。

- ①建築手法による省エネ
- ②設備を利用した省エネ

耳より情報

2020年
省エネ基準が義務化されます。
つまり今までのような住宅は
建てられなくなるんです！！

これからは住宅を検討する際に、デザインや価格だけではなく、省エネという視点も必要になります。

①建築手法による省エネ

ここが大事

後から設置・交換できないもの

建築手法による省エネとは、建物の骨格や外壁、屋根、サッシなどの性能を上げることによって冷暖房などのエネルギー消費を抑える手法である。

建物の熱損失箇所	冬の損失	夏の損失	省エネ手法
開口部	48%	71%	樹脂サッシを取りつける(アルミサッシの8倍の断熱性能)
外壁	19%	13%	
屋根	6%	9%	高性能な断熱材を必要な厚さに取りつける
床	10%	2%	
換気	17%	5%	24時間機械式換気を取りつける

もう一つ、これらに関連して、高気密がとても重要なポイントになります。

②設備を利用した省エネ

後から設置・交換のできるもの

設備を利用した省エネには、住宅で使うエネルギーを住まい手がつくりだす創エネと、高効率設備によりエネルギーの総量を減らす省エネがある。

創エネ	省エネ
地熱・風力・水力・太陽光など	高効率給湯機や節水型水栓、節水型トイレなど

当社では、既に4年前から～省エネ住宅～に取り組んでおります。
安心・安全で健康的な暮らしやすい家に住んでみませんか？